

特集

戦う!?「世界天文年」

～1月1日00時00分→12月31日23時59分～

小野夏子☆（地球で一番早い世界天文年観望会、他）

1. はじめに

2009年11月、天文教育普及研究会の関東支部集會が開催され、そこで「私の天文普及、私の天文イベント」というテーマでの発表募集がありました。本原稿は、この時の発表をベースにしたものです。

2. 「世界天文年」でこんなことやりました！

2009年は、世界天文年。天文イベントを開催するには絶好の機会です。この機会に何もしないという手はありません。

この記事では、私、小野夏子☆が、2009年が世界天文年であるのを良いことに行った様々な活動を時系列で、ご紹介いたします。

2.1 地球で一番早い世界天文年観望会

さて、「世界天文年」は、いつからか...ご存知ですね。ぐんま天文台で開催されたオープニングイベントよりはるか前、2009年1月1日が始まった瞬間から世界天文年はスタートしているのです。

1月1日が始まる瞬間、自分が居る場所で観望会を開催！ というのが、この「地球で一番早い世界天文年観望会」です。



図1 除夜の鐘に集まった人と観望会

2009年3月号にも報告記事を書いておりますので、お読みいただいた方もあるかと思えます。これは、某天文学者渡部潤一氏のアイデアに対抗する企画です。

2008年12月、同好会サミットの席上で、某渡部潤一氏は、「自宅近くの神社の初詣客に星を見せる」と言い放ちました。「そっちが、初詣なら、こっちは除夜の鐘だ！」

(…ってというかフライングだ!?)

私の2009年は「**戦う世界天文年**」としてスタートしたのでした。

まったくの私事で恐縮ですが、実は、この「地球で一番早い世界天文年観望会」を開催した会場は、妹が嫁に行っているお寺が会場でした。私の世界天文年は、血縁者を巻き込んだプロジェクトとしてスタートいたしました。

2.2 大きな宇宙の小さな巡回展

世界天文年がスタートするとそれに伴う企画が全国、全世界で動きはじめました。

巡回展「宇宙の謎を解き明かす」は、東京・上野の国立科学博物館からスタートし「仙台」「新潟」「名古屋」「大阪」と全国5箇所の施設を巡る企画展です。

対抗し、低予算でも手軽に開催できる巡回展「大きな宇宙の小さな巡回展」を企画。Part1は、かつて、食玩として売られていた「王立科学博物館（探査機などのミニチュア）」を並べるもので、開催にあたり監修者の岡田斗司夫氏にも連絡しました。

詳細は、会誌（2009年7月号 Vol.21 No.4 通巻99号）をご覧ください。



図2 大きな宇宙の小さな巡回展(米子)

こちらは、鳥取県の「米子市児童文化センター」からスタート。「みさと天文台(和歌山県)」「釧路市こども遊学館(北海道)」「郡山市ふれあい科学館(福島県)」と巡回し「さいたま市宇宙劇場」では、2010年2月28日まで開催中。全国5箇所を巡回しますが、範囲の広さでは、上野スタートの企画展より広域を巡ります。つまり**我々の勝ちです!**

2.3 ボクもガリレオプロジェクト

そして、こちらは、もう一人の妹に協力してもらって実現した「ボクもガリレオ」プロジェクト(…どこかで聞いたことのあるようなプロジェクト名ですね)。そう、「君もガリレオ」プロジェクトの**対抗企画**です。基本的に戦ってますから。



図3 仙台市天文台にはガリレオが2人!

私の企画も「400年の時を超えガリレオ・ガリレイを疑似体験しよう」というコンセプトは、同じです。ただし、こちらは、全天候型、星が見えない昼間でも誰もが取り組むことのできる優れた企画です。

こちらでも会誌(2009年9月号 Vol.21 No.5 通巻100号)にご紹介しておりますので、参照ください。

2.4 メールマガジンの発行!

他にも「何か個人的に天文普及ができないかな?」と考え、メールマガジンを発行することに致しました。5月14日に「まぐまぐ」に登録し、5月26日より毎日発行しております。2009年12月15日現在203号を発行!

無料でお読みいただけるので、よろしかったらみなさまもご登録ください。

メルマガ「天文雑学」

<http://www.mag2.com/m/0000290852.html>

2.5 日食…TOKYO FM 出演

7月22日には、日食がありました。今年度は、職場では天文係にあたっておらず、日食の当日は休み。でも、日食の翌日は出勤。都内で部分日食を見る予定にしておりました。

ところが、日食直前の7月17日の夜に「JAPOS 日本公開天文台協会」のMLに「日食当日、ラジオに生出演していただけませんか?」という依頼が流れてきました。東京のラジオ局スタジオに向いて、日食の話をして欲しいというのです。

皆既日食を見るために出かける人は、当然、東京には居ません。逆に出かける予定をしていない人は、仕事がありますから、その時間にラジオ局へ行くことはできないでしょう。空いているのは、私だけかも…。TOKYO FM「Blue Ocean」に生出演しました。

2.6 板橋区立西徳児童館「部分日食観察会」

ラジオ出演が終了したら、駆け足で板橋区へと戻ります。自宅近くの児童館に頼まれ、「部分日食観察会」を開催したのでした。

当日の東京の天気は、曇天。参加者数、約 20 人。

ダメモトで、食の最大のころ、空を見上げると、薄くなった雲の向こうに欠けた太陽の姿がチラリと見えました。「あ、日食が見える。」雲間の部分日食に歓声があがりました。

日食観察会参加者の 20 名に加え、同児童館で活動していた学童の子供たちも出てきて一緒に空を見上げました。

2.7 「ハッブル望遠鏡で見る宇宙の脅威」

日食と時を同じくして著書が書店に並びました。「DVD-ROM 付き」の書籍「ハッブル望遠鏡で見る宇宙の脅威」です。

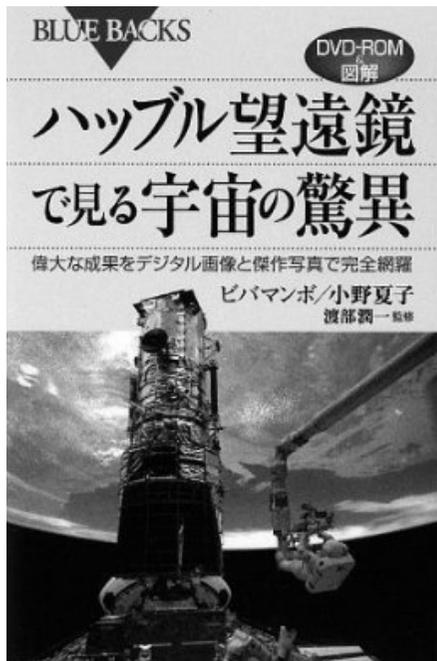


図 4 著書が講談社ブルーバックから

DVD には、ハッブル宇宙望遠鏡が撮影して

きた多数の美しい天体の画像がデータベース化されており、自宅のパソコンに入れば、大きな画面にして見ることができます。

内容が素晴らしいのは、ハッブル宇宙望遠鏡のお陰です。書籍の内容が確かなのは、監修者渡部潤一先生のお陰で、画像データベースの素晴らしさはビバマンボさんのお陰。私は文章を書いただけです。

アマゾンでも買えます。充実した画像データベースから考えると 1 冊、1500 円は、お買い得です。

2.8 「銀河教室」 in つくば

9 月の...シルバーウィークに観望会講師をしました。つくばの JAXA を会場に毎日新聞・新日鉄・宇宙少年団の企画で、小中学生を集め宇宙飛行士訓練体験をさせるものです。一泊の企画になるのを利用して、天体観望会を開催しました。

当日は、好天に恵まれ、みんなで木星の衛星をスケッチして、「君もガリレオ」プロジェクトに参加。「ボクもガリレオ」の方は、宇宙教育の的川先生にガリレオを着ていただきました。

2.9 お台場・街角天体観望会

「街角観望会構想」は、人通りの多い街へ望遠鏡を持って行って道行く人に星を見てもらうというもの。日頃星を見る機会のないような人と星空を見上げる企画です。

ゲリラ観望会ではなく、許可をとって開催したいと考え動きはじめたのは、世界天文年が始まってからでした。最初、新宿のサザンテラスに目をつけ、JR 東日本の本社まで出向いたのですが、「通路なので、三脚を立てるなどの企画は、許可できない」と玉砕。池袋も探しましたが、高層ビルが近いと空が開けておらず、公園的などところは木立が高く茂っていたりとなかなか適地が見つかりません。



図5 第一回 お台場街角天体観望会

そんな中、「お台場の公園指定管理者に連絡できる。話してみてもいい？」と紹介をいただきました。お台場は、都会とはいえ、海に囲まれた比較的光害から離れた観望適地です。お台場海浜公園の指定管理者である東京港埠頭さんと連携し、「第一回 お台場・街角天体観望会」をガリレオの夕べの初日（10月22日）に開催することができました。

当日は、木曜。多くの「ガリレオの夕べ」の企画が週末に開催されるのに先立っての実施となりました。せっかくなら「ガリレオの夕べ」を宣伝しよう！と翌日、翌々日に開催されるガリレオの夕べ参加イベントをプリントにして来場者に配布しました。

天気は、曇り勝ちでしたが、時折雲間から姿を見せる木星の様子を約500名の方が天体望遠鏡で観望しました。

観望会をお手伝いいただいた皆様は様々なMLなどで声を掛けた方々…。日頃は、科学館施設に勤務する人、YACのリーダー、mixiの知り合いなど、いろいろな人が集まりました。

3. まだ、終わってない「世界天文年」！

2009年は、世界天文年。この原稿を書いているのは、2009年12月15日。まだ半月、世界天文年が残っています。

まだまだ、やります「世界天文年」！

3.1 第二回 お台場・街角天体観望会

第二回のお台場・街角天体観望会を実施することになりました。（先ほどメールが届き「世界天文年 2009 公認イベント」になりました。）

今回は、毎年恒例となっているお台場海浜公園の「キャンドルナイト in お台場」とジョイント企画。12月19・20日（土・日）、来場されるお客様1万5000人に天体望遠鏡をのぞいてもらおうという大作戦です。全国から人の集まるお台場へあなたも星を見せに来ませんか？ …って、直前までスタッフ募集していて大丈夫なのか？ この企画。

お暇だったら…お近くにお越しなら…なんて申しません。万障お繰り合わせの上、遠路はるばるお台場へお越し下さい。参加費無料！報酬無料！…ってどうか持ち出し！？完全なボランティア。遠くからお越しただく方には申し訳ないですが、交通費も出ません。それでも「手伝うよ」という方が居られましたら、大感謝っ！！「1日のみ」や「部分参加」も歓迎です。

…といった宣伝文句でスタッフ募集したら、関東圏の方だけでなく、福島やら岩手やらから手伝いに来ていただいていたしまいました。

原稿提出時点では、開催前。今のところ天気予報では「晴れ」マークがついています。



図6 キャンドル・イベントと同時開催

3.2 ボクもガリレオプロジェクト写真募集

先にもご紹介した「ガリレオっぽい服で自分もガリレオになろう!」という「ボクもガリレオ」プロジェクトでは、ガリレオの写真を大募集!

<http://8618.teacup.com/galileogalilei/bbs>

掲示板に画像投稿していただくもので、投稿いただいても賞品等はまったく用意しておりません。それでも全国のガリレオからささやかに画像の投稿をいただいております。

3.3 プロジェクト「テラへ…」

1年の最後には、締めくくりのイベントが待っています。そう、「除夜の鐘」。もちろん、その横に天体望遠鏡を置くことは、言うまでもありません。プロジェクト「テラへ…」。



図7 今年も法雲寺の門前に天体望遠鏡を

1年前に某天文学者が言った言葉を思い出します。「神社の初詣客に星を…」と。向こうの企画は「初詣」。でも、世界天文年の初詣はもうありません。当方の企画は「除夜の鐘」です。世界天文年の除夜の鐘はまだ、これからあるのです。**勝った!**（「除夜の鐘」は108つ鐘を撞きますが、うち100回が年内で、最後の8回が年明けなんだそうです。ですから「世界天文年の除夜の鐘」は、2回あるんですね。）

檀家さんにも好評であった観望会を今年も開催する予定で進めています。愛知県豊田市

「法雲寺」の恒例行事になるかもしれません。

4. おわりに

お疲れ様でした。この他に通常業務としてプラネタリウム脚本2本書いております。

みなさまは、どのような「世界天文年」を過ごされましたでしょうか。

文 献 & Web

- [1] 地球で一番早い世界天文年観望会
<http://homepage3.nifty.com/planetarium/10000000/japan.html>
天文教育普及研究会 会誌 97号
<http://tenkyo.net/kaiho/kaiho97.html>
- [2] 大きな宇宙の小さな巡回展
<http://homepage3.nifty.com/planetarium/2009tenmon/ouritukagaku/>
天文教育普及研究会 会誌 99号
<http://tenkyo.net/kaiho/kaiho99.html>
- [3] ボクもガリレオプロジェクト
天文教育普及研究会 会誌 100号
<http://tenkyo.net/kaiho/kaiho100.html>
- [4] お台場・街角観望会
<http://homepage3.nifty.com/planetarium/2009tenmon/odaiba.html>
- [5] プロジェクト「テラへ…」
<http://homepage3.nifty.com/planetarium/10000000/japan2.html>



小野夏子☆@三瓶・ガリレオ